

## 期待 45 : context と行為の理解

下の2つの写真は Amoruso, L. et al. (2018) Neuroimage, 177:68-78 から拝借した。この論文は context と行為の理解の脳内機構を磁気刺激 TMS で検討した論文である。ここではその実験について詳しく紹介することはしない。『期待 40』で context が対象の認知を促進することを述べたが、この論文は context が行為の認知、理解を促進することを示した。いずれも、Predictive coding の考えと整合的である。この実験で video clip をみた参加者が答



えるのは、飲もうとしているのか、それともきれいにしようとしているのか、である。行動も Finger-precision grip、Whole-hand grip があり、それぞれ、飲む、きれいにするに対応している。この論文の context は机にあるものの状態である。上の写真ではカップにコーヒーが入っており、ミルクもあり、机はきれいである。下の写真ではカップは空で、ミルクはなく、机は汚れている。この写真は context と動作が一致した congruent な関係だが、context と動作が逆な関係の incongruent な条件などがあり、 $d'$  で表現された sensitivity は当然 congruent な条件の方が incongruent よりもよい。『期待 40』、『期待 43』と同じ趣旨である。